

第 47 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会 会長挨拶

本日、ここに、第 47 回全国陸上貨物運送事業労働災害防止大会を開催するに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、3 月 11 日に発生した東日本大震災により、陸運業に携わる方を含め、多くの方々が被災され、また、数多くの方々が亡くなられたことに対し、心から哀悼の意を表したいと存じます。

また、本年は、「安全専一」を掲げ、我が国産業界における自主的な安全運動が開始されてから丁度 100 年目に当たります。改めて、安全と健康の大切さを心に刻むとともに、労働災害の絶滅に向けての思いを新たにいたすところでございます。

さて、本日の大会には、全国各地から大変多くの皆様にご参集いただいております。お陰様で、このように盛大に本大会を開催できました。心から厚く御礼申し上げます。

また、本大会には、公務ご多忙のところ、厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課長 田中正晴 様、国土交通省 四国運輸局長 丸山研一 様、警察庁 四国管区警察局 総務監察・広域調整部長 庄司政雄 様、そして、徳島県政策監 熊谷幸三 様をはじめ、多数のご来賓のご臨席を賜りましたことを誠に光栄に存じ、厚く御礼申し上げます。

さらに、本日は、労働災害の防止に顕著な功績をあげられました事業場、団体、個人の方々等への表彰を行うこととしております。受賞されます皆様方には、これまでのたゆまぬご努力、ご精進に対し深く敬意を表しますとともに、心からお喜びを申し上げます。

ところで、当協会では、「陸上貨物運送事業労働災害防止計画」に基づき、①平成 24 年までに平成 19 年と比して労働災害の死亡者数を半減させること、②死傷者

数を15%以上減少させること、③過重労働による健康障害を防止することなどを目標として掲げ、その達成に取り組んでおります。残り1年半となりましたが、目標達成に向け、なお一層積極的な安全衛生活動を皆様と一緒に展開してまいりたいと存じます。

陸上貨物運送事業における計画期間中の労働災害の発生状況をみますと、死亡者数については、平成21年には122人と過去最少となったものの、平成22年には154人と大幅に増加し、緊急要請も行わせていただきました。その結果、本年においては、10月7日現在の速報値では、対前年比27%の大幅減少となっております。

一方、死傷者数は、平成21年には12,794人と初めて1万3千人を下回ったものの、平成22年には13,040人と再び1万3千人を上回りました。本年においても、8月末日現在の速報値では、対前年比1%強の減少にとどまっています。

今後、労働災害防止計画の目標を達成するためには、死亡者数については、現在の減少率を維持するとともに、死傷者数については更なる減少を図っていくことが必要であります。特に、死傷者数の約7割を占める荷役運搬作業につきましては、本年6月2日付けで厚生労働省から「陸上貨物運送事業の荷役作業における労働災害防止対策の推進について」という通達が発せられています。この通達を踏まえ、荷主等との連携協力による安全対策の推進等に一層取り組む必要があります。

これから年末・年始を迎え、死亡・重大災害を含む労働災害が多発することが懸念されますことから、今後関係行政機関、関係団体のご指導、ご協力を得ながら、本部、支部、会員事業場が一体となって、「年末・年始労働災害防止強調運動」を強力に推進していくこととしております。

陸運業は、引き続き厳しい経営環境のもとにあります。国内貨物輸送量の9

割以上を担い、我が国の経済活動と国民生活を支える物流の中核であります。このことは、今回の東日本大震災においても、その復旧、復興に大いに力を発揮し、被災された皆様への大きな支えとなったところであります。このような機能を、今後とも十分に果たしていく上でも、そこで働く人々の安全と健康を確保していくことは、必要不可欠であります。

本日、ご参集の皆様方におかれましては、本大会を契機に、これまで以上に充実した実効ある労働災害防止活動を展開されますようお願い申し上げる次第であります。

結びに、本大会開催に大変ご尽力をいただきました陸災防徳島県支部の皆様をはじめ関係者の方々に厚く御礼申し上げますとともに、お集まりの皆様方の事業場の益々のご繁栄と労働災害ゼロを心から祈念し、私の挨拶といたします。

平成 23 年 10 月 27 日

陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長

岡部正彦